

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成29年3月9日(2017.3.9)

【公開番号】特開2016-24121(P2016-24121A)

【公開日】平成28年2月8日(2016.2.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-009

【出願番号】特願2014-149967(P2014-149967)

【国際特許分類】

G 21 F 9/30 (2006.01)

【F I】

G 21 F 9/30 5 1 9 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月31日(2017.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

放射性核種を含む放射性廃棄物、ガラス原料及びグラファイトを第1容器内に供給し、前記放射性廃棄物、前記ガラス原料及びグラファイトが内部に存在する前記第1容器が、第2容器内の断熱領域に配置され、

前記断熱領域内で、前記放射性核種から放出される放射線により発生する熱で、第2容器内の断熱領域に存在する前記第1容器内の前記放射性廃棄物及び前記ガラス原料を加熱し、

加熱された前記ガラス原料が溶融して前記放射性廃棄物のガラス固化体が作製されることを特徴とする放射性廃棄物の固化処理方法。

【請求項2】

前記放射性廃棄物、前記ガラス原料及びグラファイトが内部に存在する前記第1容器の前記断熱領域への配置は、前記第1容器を、前記第2容器である断熱容器内に形成される断熱領域に配置することによって行われる請求項1に記載の放射性廃棄物の固化処理方法。

【請求項3】

前記放射性廃棄物、前記ガラス原料及びグラファイトが内部に存在する前記第1容器の前記断熱領域への配置は、前記第1容器を前記第2容器である減圧容器内に配置し、密封された前記減圧容器内の、前記第1容器が配置された空間を減圧して断熱領域にすることによって行われる請求項1に記載の放射性廃棄物の固化処理方法。

【請求項4】

前記第2容器内の前記断熱領域に配置される前記第1容器の温度を測定し、前記第1容器が配置された、前記第2容器内の前記断熱領域に供給するガスの流量を、測定された前記温度に基づいて調節する請求項1ないし3のいずれか1項に記載の放射性廃棄物の固化処理方法。

【請求項5】

前記第2容器内の前記断熱領域に配置される前記第1容器の温度を測定し、前記第1容器が配置された、前記第2容器内の前記断熱領域の圧力を制御する請求項3に記載の放射性廃棄物の固化処理方法。

【請求項6】

熱伝導部材によって複数の廃棄物充填領域が内部に形成された固化体のそれぞれの前記廃棄物充填領域に、放射性核種を含む放射性廃棄物、及びガラス原料を充填し、

前記放射性廃棄物及び前記ガラス原料が内部に存在する第1容器が、第2容器内の断熱領域に配置され、

前記断熱領域内で、前記放射性核種から放出される放射線により発生する熱で、前記第2容器内の断熱領域に存在する前記第1容器内の前記放射性廃棄物及び前記ガラス原料を加熱し、

加熱された前記ガラス原料が溶融して前記放射性廃棄物のガラス固化体が作製されることを特徴とする放射性廃棄物の固化処理方法。